

## 5. その他

### (1) 「芯の通った学校組織」の取組の効果検証

#### 第5フェーズの取組

- ① 各学校における目標達成・組織マネジメントの定着状況を客観的に把握・点検できるよう、「8つの観点」に係る共通の評価基準を設定する（42頁参照）。この評価基準を用い、教育事務所による学校訪問等を通じて定着状況の把握に努めつつ、『「芯の通った学校組織」の確立」像を踏まえ、第5フェーズを通して全ての学校において「8つの観点」全ての項目で「A」への到達を目指す。
- ② 第5フェーズまでの「芯の通った学校組織」の取組を検証・総括するとともに、「活用推進プラン」後の展開の検討に資するため、今夏を目途に改めて「芯の通った学校組織」定着状況調査を実施する。
- ③ 県教育センターの調査研究機能を強化し、例えば、「芯の通った学校組織」の取組状況や定着状況と学力・体力調査結果等とをクロス分析することにより、エビデンスに基づくより効果的な学校教育課題の解決方策を研究する。

### (2) その他

#### 第5フェーズの取組

- ① 「教育県大分」創造に向けた地域別意見交換会の開催
  - ・ 「教育県大分」の創造に向けて、従前の移動教育委員会・「小・中学校長との地域別意見交換会」を発展的に見直し、県教育委員会（教育長・教育委員ほか）と市町村教育委員会、小・中学校長等による『「教育県大分」創造に向けた地域別意見交換会」を定期的を開催する。
- ② 教育研究団体等の活用
  - ・ 「教育県大分」の創造に向けて、教育研究団体等の活用方策について検討する。
- ③ 県立中学校への指導
  - ・ 県立中学校においては、「活用推進プラン」及び本書に基づき「芯の通った学校組織」の先駆的・模範的な取組を推進するとともに、「活用推進プラン」後の展開も見据え、校種間連携等のモデルとなる取組を推進する。
- ④ 大分大学教育学部附属小・中学校との連携
  - ・ 本県教育における大分大学教育学部附属小・中学校の位置付けや役割の重要性に鑑み、優れた教育実践の普及に向けた連携強化を図る。
- ⑤ 県内大学等との連携強化
  - ・ 高大接続改革や中央教育審議会答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」を受けた国の動向を注視しつつ、「県教育委員会と大学の連携協力に係る連絡協議会」の活性化等、県内大学等との連携強化を図る。